

## 『自分を大切に！人を大切に！』 3年生 人権・同和問題に関する講演会

●2月3日（水）、「おおだふれあい会館」館長 石橋義正 先生にご来校いただき、卒業を目前にひかえた皆さんにご講演いただきました。「生きていく上で必要なものは何？」という問いかけから始まり、差別の心理や背景、人権感覚と人権意識、いのちや愛など…盛りだくさんの内容でしたが、これまでの人権学習の「総まとめ」をしていただけたのではないのでしょうか。感想を紹介しますね。

### 感想より

- 🍷 今日まで、何度も人権・同和問題に関する学習をしてきました。今回の講演でも改めて理解したことがあり、とても貴重な時間になりました。演題に「自分を大切に！人を大切に！」と書いてあり、始まる前から興味がわきました。ものさし、人によって違う長さ、幅があるというところにとっても共感しました。差別にも2種類があり、2つ、「自分が人を、自分が自分を差別する」。この2つは今までも出てきていましたが、その時とは違う感想がもて、過去の自分とは違うんだなと感じました。
- 🍷 色鉛筆の色から肌色がなくなっていることを初めて知りました。肌色という色を今まで深く考えたことはありませんでしたが、よく考えると肌の色は一色ではないことに気づきました。今まで気にもしていなかったことが、実は誰かを傷つけていたのではないかと思いました。「外人さん」など日常のなかで使っていた言葉でも、誰かが悲しんでいることもあるはずです。一人ひとりが思いやる気持ちを持つことで、何かが変わるんじゃないかと思いました。物事を慎重に考えていきたいです。
- 🍷 「命は大切」と言われるよりも、「あなたが大切」と言われたほうが良いというのは、すごくわかりました。もちろん命は大切だけど、その命も、その人がいるおかげであるわけだし、一番大切なのは、その人自身なんだと思い、これからは、「命を大切に」だけではなく、「あなたが大切」、「あなたが必要」などと伝えていきたいと思いました。



●石橋先生は、偏見や思い込みにとらわれず、さまざまなものの見方ができる力・感性（三人権感覚）をみがいていくことの大切さを、さまざまな角度からお話してくださいました。そして、講演の全体を通して、「人を差別しないこと」はもちろん、自分を差別しないことを訴えてくださいました。（→裏面へつづく）

## 感想より

- ☞ 私もたまに自分が自分を差別することがあります。小学生や中学生の時は他人を差別することが多かったです。でも、人権・同和教育を通して差別に対する意識が変わりました。人を大切にするのは当たり前ですが、自分も大切にすることも必要だと思いました。
- ☞ 差別には自分が人を差別する、自分が自分を差別する、という2種類があることがわかりました。幼い時は自分を見てほしい、自分を認めてほしいという気持ちがあったけど、年齢が上がっても見てほしい、認めてほしいという気持ちはあると思いました。
- ☞ 石橋先生の話聞いて、普段なにげなく発言していることでも人権問題につながってしまうことなどを知り、行動でも、相手には嫌なことだと思われてしまうことがあるかもしれないと思いました。それから、私は友達はとても好きですが、自分はとても嫌いです。ですが、今日の話聞いて、友達や人を大切にするだけでなく、自分も大切にしないといけないなと思いました。自分を大切にすれば、もっと多くの人を大切にできるのではないかと思いました。

●講演の最後に、“困ったときに、「助けてください」と言える人であってください。助けてくれる人は必ずいます。助けてもらえた経験があれば、次にあなたも、誰かを助けることができるようになります。”と石橋先生がおっしゃったのが印象的でした。卒業後、困ったことがあったら…、支えてくれる人がたくさんいることを思い出して下さいね。邇摩高校でともに学んだ仲間がいます。叱咤激励してくださった先生方も、ずっとあなたたちのことを見守っています。そして、皆さんの力で、この社会を、誰もが暮らしやすい、誰にも温かい、誰もが幸せを求めることができる社会にしていってください。人権に関する学習は、一生涯を通じておこなうものです。「学習」と思って難しく考えずに、自分自身が大切にされているか、まわりで困っている人がいないか、気にかけてほしいと思います。新天地での皆さんの活躍を、心から祈っています！

## 感想より

- ☞ 文章を読んで「直すところはどこか」って書いてある問題に対して、私はどこも問題がないと思って線を引きませんでした。石橋さんや友達の話聞いて直したときに、自分はまだまだ人権についての理解が浅いと実感させられました。今までもこういう時間があって、もう人権について完璧だと思っていた自分がいたので、改めて見直しをしないといけないと思えました。今日の話をもとに、もっと人権について知りたいし、私の将来の仕事にも大きくかかわっていくと思うので、考えを深めていきたいと思いました。

# ご卒業おめでとうございます！



\*この便りは持ち帰り、保護者のかたと人権について話しあうきっかけにしてください。(人権・同和教育推進スタッフ 森脇)